

「道の駅津かわげ」でのよもやま話

山越 玲子

「たまむしの森」で「道の駅津かわげ」を取り上げるのは何故だろうと、お思いになる方もいらっしゃると思いますので、簡単に「谷川土溝の会」と「道の駅津かわげ」のかかわりをお話します。

「道の駅津かわげ」は、平成 29 年 4 月に津市河芸町三行に設置され、その店舗の一角に津観光ボランティアガイドネットの情報コーナーが開設されました。このコーナーには各地（主に津市内）の観光パンフレットや案内地図等を並べ、ご来場のお客様に名所・旧跡等のご案内をしています。案内人は、津観光ボランティアガイドネット所属の市内 13 ボランティアガイド会の有志（1 人～2 人）が毎日当番で、午前 9 時半から午後 4 時まで常駐してガイドしています。「谷川土溝の会」もガイドネットに加盟している団体の 1 つです。

これで、「土溝の会」と「津かわげ」の関係をご理解していただきましたでしょうか？

私も月に 1～2 日程度「津かわげ」で、家庭では見せたことのない程の素敵な笑顔を振りまいて、お客様に接しています。お客様との対話の中で、特に記憶に残っているお話を 2 つご紹介します。

◎平日、名古屋市からの二人連れ（母 60 代？、娘 30 代？）「この付近で見所はどこですか？」と質問されました。平成 29 年 11 月に国宝に指定された高田本山尊修寺の御影堂・如来堂をパンフレットで案内したら、「犬を連れてくるから、お寺には入山出来ない」とのこと。「犬は今何処に？」と尋ねたら、「ワンボックスカーに 7 匹いる」と言われたので、一瞬 7 匹もと驚いて言葉も出ませんでした。ふと中勢バイパス沿いの広大な敷地の公園を思い出しました。平日だったので、リードを付けたら犬の散歩ができるのではないですかと説明し、中勢グリーンパークをお教えしました。そうしたら 2 人は大層喜ばれて、感謝の言葉を頂きました。

◎真夏のお昼過ぎ、外国人ご夫婦がいらっしゃいました。奥様は白人でしたが、脚が日焼けで真っ黒です。驚いて身振り手振りと言葉英語で尋ねたら、ニュージーランドから韓国経由で九州へ来られ、そのあと九州・四国を回って紀伊半島へ。海岸沿いを北上して、昨日大台町で 1 泊し、大台町から津かわげへ到着。九州からサイクリングの旅で今晚は津かわげで泊り、明日琵琶湖近くの瀬田へ行くとのこと。

ご主人は東南アジアの仏教に興味をお持ちと分かったので、高田本山尊修寺へご案内したらとっても喜ばれ、是非ニュージーランドへ遊びに来てくださいと名刺をくださいました。もう 1 人の当番の人が、英会話得意の方だったので、大助かりでした。

このように沢山のお客様と接すると、マンネリの生活の中で刺激を受け大変勉強になります。「津かわげ」でガイドをお手伝いしても良いと思われたら、是非ご連絡ください。

